

# 日仏政治研究

第13号

論文

近年のフランスにおける中央-地方関係論の動向——「競争的調整」を通じた国家の再浮上

茨城大学 佐川 泰弘

マクロン政権とコルシカ民族主義——憲法改正プロセスにおけるコルシカの特別地位規定をめぐって

横浜国立大学 長谷川秀樹

2018年度研究会シンポジウム報告

「マクロン政権の1年を検証する」

・日仏政治学会研究会開催趣旨

早稲田大学 片岡 貞治

・「軍事介入の論理」NATOと中東——欧州の外と内にある敵

一橋大学 福富 満久

書評

宮島喬『フランスを問う——国民、市民、移民』（人文書院、2017年）

一橋大学 田中 拓道

尾玉剛士『医療保険改革の日仏比較——医療費抑制か、財源拡大か』（明石書店、2018年）

大分大学 松本 由美

編集規程  
投稿要領  
編集後記

2019年3月30日

日仏政治学会 編